



北海道森林管理局北見分局 知床森林センター  
〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地  
電話 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160  
ホームページ <http://www.siretoko.knc.ne.jp/>



(写真：名峰『斜里岳』)

## エゾシカによる樹木食害調査結果（概要）まとまる

～食害を受けた割合が8割を超過

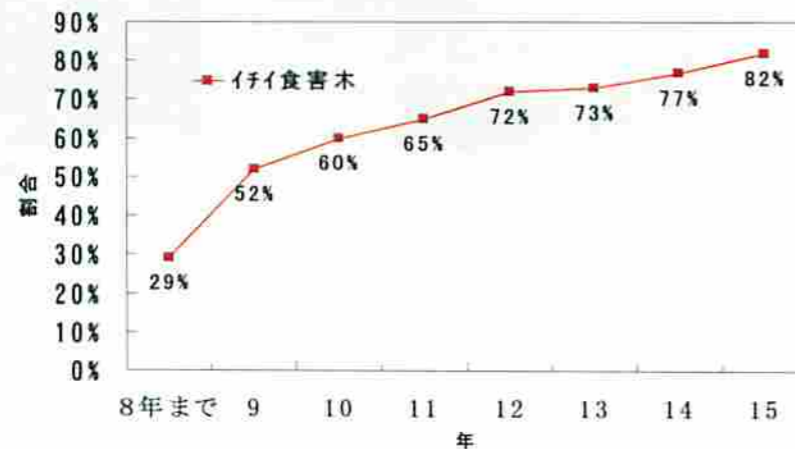
当センターでは、平成9年より毎年知床の国有林内でエゾシカによる樹木食害調査を行っています。樹木食害とはエゾシカが樹木の皮をはぎ取り食べてしまう被害で、樹皮を全周食べられると樹木が枯れてしまい、林業被害の拡大や森林生態系のバランスが崩れる可能性もあり深刻な問題となっています。

下表はイチイの食害推移をあらわしたものです。平成15年の調査結果によると、新たに食害を受けたイチイは36本となり、過去に食害を受け、今回更に食害が材周方向に広がった個体は71本になりました。

食害の経過については、平成8年から9年にかけて食害が急激に増え、その後徐々に増え続け、平成15年はイチイ全体の82%が食害を受ける結果となりました。

このようにイチイへの食害が年々増え続け約8割のイチイが食害を受けていること、調査区はイチイの林木遺伝資源保存林に指定されていることなどから、イチイを樹皮食害より保護する目的で、平成12年秋に食害防除用の網を調査区内のイチイ約100本に巻き経過をみています。

イチイの食害推移（積算割合）



## R334 知床横断道路開通

冬期間通行止めとなっていた知床横断道路が、4月25日（金）10時に開通しました。斜里町側の幌別ゲート前では、9時40分から関係者や観光客など約150名が参加し開通のセレモニーが催されました。



当日、峠からみた『羅臼岳』



関係者によるテープカット

なお、夜間路面凍結のおそれがあるため、当面の間は午前10時から午後3時30分の間のみ通行可能となります。

また、知床五湖までの道道知床公園線と町道も、同日11時に開通しました。

## 知床は今

例年になく4月末まで居座っていた流氷が去り、平地の雪も解け例年並みにエゾヤマザクラの蕾が膨らみ花が開きました。センターからあたりを見渡すと、茶色かった木の枝が日に日に緑に塗り変わっています。公園の芝生の中に、青紫の鮮やかなエゾエンゴサクの花があちらこちらに彩りを添えています。

冬の間交通規制されていた知床横断道路も連休の前日に半年ぶりの開通になりました。さっそく開通になった国道沿いにある幻の沼といわれるボンホロ沼へ行きました。

例年ならば水量が多くて渡るのに苦勞する濁沢は、まだ残雪で埋まっており散策路にも雪があり残雪の上を歩きながら進みました。ボンホロ沼に近づくにつれてエゾアカ蛙の鳴き声が聞こえてきます。沼の周囲は雪が残り水面が顔を出したばかりの様です。残雪の羅臼岳が正面に望める岸に立つと、水面に山容を映した沼と、芽ぶきの遅い木々が茶色く林立して静寂を保っています。

その森の中で、ウグイスの鳴き声が聞こえています。湖水を覗くと、ゼリー状の卵が沼の中のあちらこちらに見えました。

沼の縁は雪に囲まれて、木々の芽吹きはまだで柳の花だけが薄緑に見えました。道中の山の斜面にキタコブシの白い花が見られました。これから木々が芽吹いて新緑になると美しくなります。

融雪水のたまったボンホロ沼の水が濁れるのは例年7月上旬ですが、雪解けが遅いので今年もその頃までこの幻の沼が見られそうです。



氷が残る『ボンホロ沼』



可憐な『エゾエンゴサク』

## 今年度もイベントをよろしくお願ひします

今年度のセンターのイベント計画が決まりました。

皆さんを今なお神秘に覆われた知床の森林へご案内します。いずれも選りすぐったコースです。四季それぞれの森林の変遷、美しさを堪能してください。

また、斜里町立知床博物館のご協力により、より内容を充実したイベントにしていきます。

なお、詳細については、開催日が間近になった時点で、ホームページ、市や町の広報誌、新聞、情報誌などでお知らせいたします。



昨年の実施状況（秋の知床硫黄山登山）

### ◎ 森林レクリエーション・in知床

実施月日（曜日）	行 事 内 容	実 施 場 所	募 集 人 員
平成15年 7月 9日（水）	夏の森に轟きの滝を探して	自然観察教育林	23名
8月 7日（木）	神秘の羅白湖と五つの沼巡り	羅白湖	23名
9月 4日（木）	初秋の知床硫黄山を訪ねて	知床硫黄山 新噴火口	23名
平成16年 3月 4日（木）	フレベの滝周辺の森を歩く スキーで散策	フレベの滝周辺	23名

### ◎ 森とのふれあい

実施月日（曜日）	行 事 内 容	実 施 場 所	募 集 人 員
平成15年 6月15日（日）	自然観察と体験林業（炭焼き）	ボンホロ沼、センター庁舎敷地内	23名
9月20日（土）	ドングリ調査とイチイ鹿害対策（網巻）体験	1329林班、1336林班、1377林班	30名
11月23日（日）	森の恵みのクリスマスリース作り	センターセミナー室	30名
平成16年 1月10日（土）	冬休み親子木工体験	センターセミナー室	30名
2月 7日（土）	歩くスキーで溝釣沼周辺を散策	溝釣沼周辺の国有林	30名

#### ○ 知床自然観察教育林

知床の自然が凝縮された形で見られる森林です。大木の生い茂った森林の中を、樹齢数百年のミズナラを見ながら、知床の森の奥深くへ入っていきます。幌別川の清流に連なる轟きの滝、クマゲラの滝を訪れます。

#### ○ 羅白湖

羅白湖は周囲3.7km、目の前に知西別岳、後ろを振り返れば天頂山が見える山に囲まれた、閑静な隠れた名所です。羅白湖へ至る遊歩道沿いには大小5つの沼や湿原が点在し、高山植物を観察することができます。天候が変わりやすく、晴天に恵まれる日は多くありませんが、それだけに晴れた時の景色は絶品です。



教育林内の滝



羅白湖

#### ○ 知床硫黄山新噴火口

道道知床公園線沿いの登山道入口から標高約700mの噴火口まで、森林の中や岩場を風景を楽しみながら登ります。途中で振り返れば、紺碧のオホーツク海やカムイワッカ湯の滝を見ることができます。新噴火口からは今も水蒸気が上がっており、岩石が地熱で風化し植物が全く育たないガレ場となっています。

#### ○ フレベの滝（乙女の涙）

オホーツク海に流れ落ちるフレベの滝の周辺の森林を「歩くスキー」で散策します。滝の上部に広がる雪原では、エゾシカの群れや流水を眺めたり、断崖付近の森林を巡りながら、冬の知床を満喫できます。途中にはクマゲラの食痕やヒグマの爪痕もあります。



知床硫黄山新噴火口



フレベの滝

**ホームページへのアクセス件数が年間3万件に迫る**

当センターのホームページに、平成14年度中に約2万9千件（対前年度比125%）のアクセスをいただきました。ありがとうございました。今年度もさらに内容を充実するよう、職員一同取り組みますので、よろしくお願ひいたします。